

HELLO

昨年夏に行われた子どもサマーキャンプでの一場面。子どもと一緒に笑顔の遠藤さん(森の国提供)



何でも知っているガイドに 大山「森の国」エコツアーガイド 遠藤千帆さん

国立公園・大山のブナの森ウォークやダウンヒルサイクリングなど体験プログラムのヒット商品を生み出す
「森の国」(大山町赤松)のエコツアーガイドとして活躍する遠藤千帆さん(29)。「何でも知っているのがガイド」という理想を実現するため、日々研さんを積んでいる。

ダウンヒルサイクリングおすすめ >>>> 「楽しい」見つかるとお手伝い



森の国のエコツアーガイドとして活躍する遠藤さん

出身地の米子市内の高校卒業後、兵庫県で就職したが故郷に戻り飲食店やイベント会社で勤務し、2013年に森の国へ就職した。面接の際「女性も裏方の仕事をやるよ」と説明されたが「むしろやりたいと思っただけ」と振り返る。
食事の準備や敷地の草刈り、チェーンソーを使って木を切り倒す森の維持管理作業にも汗を流し、体験プログラムのサポートスタッフとしてインストラクター業務を経験した。

自然の魅力を端的に

体験プログラムは「自然の魅力をいかに端的に伝えられるか」に苦心する。ガイドの自分が面白くないと相手に気持ち伝わりづらい。参加者と一緒にプログラムを楽しんでいる。「自然を通して楽しんでもらえればいいし、魅力が分かりにくかったらガイドを通して楽しんでもらえれば」と楽しみが見つかる手伝いに努める。

大山のスキー場から日本海まで下るダウンヒルサイクリングは「大山の全てが物語られている」と考える。ブナの森が育んだ水が日本海へ流れ、豊かな海の幸を育てる「連環」を、水の流れと同じように自分も自転車でも山を下って体感する。自転車に乗ると会話は難しいが、それだけ音や匂いに敏感になって五感が刺激され、自然を感じやすくなると解説する。

参加者の笑顔うれしい

同じようにガイドしても参加者によって反応は違う。「ガイドとして伝えているように与えられることが多い」。ツアーのたびに発見がある。参加者の笑顔が何よりうれしくガイドとしてやりがいを感じる。「何を聞かれても答えられるようなガイドになりたい」と目を輝かせた。

編集室

○…遠藤さんがエコツアーガイドの一步を踏み出した2013年、鳥取県西部を主会場に「エコリズム国際大会」が開催された。ダウンヒルサイクリングやブナの森ウォークなどを体験取材した。自転車や自分の足で歩くと、記事や写真では伝えきれない自然の魅力を感じる。エコリズムは「人ツリズム」。同じコースでもガイドによって受ける印象は変わる。次回は彼女が案内するツアーにぜひ参加してみたい。

(西部本社・足立篤史)

学校のキョウガ

DRAGON BALL Z 復活のFが今が楽しみです!

祝! 銀魂新シリーズ放送決定!!

イラストは日本海新聞ホームページにも掲載して(毎週水曜日更新)

月華 梵天丸

水曜 Suiyan

香り立ちやすい
ドリップ式のお茶

「朝の雫」「夜の雫」
井上青輝園(大山町潮音寺)

ドリップ式で入れる斬新なお茶「朝の雫」。心に6種類の茶葉をブレンドした。「夜の雫」は香ばした渋味、「夜の雫」は香ば